

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学医学部附属病院
消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科
研究責任者： 須藤 亜希子

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 大腸癌局所再発に対する術前治療の有用性、安全性についての検討

研究の目的

切除可能直腸癌局所再発に対しては手術が推奨されておりますが、術前放射線照射を併用することにより、切除率を向上させるとの報告があり、大腸癌全体の局所再発治療成績向上に有用である可能性があります。そこで、大腸癌局所再発に対し術前治療を行った患者情報や治療情報、予後情報を用いて、適正な治療戦略を検討することが目的です。

研究実施期間 実施許可日 ～ 2036 年 12 月 31 日

対象となる方 2016 年 1 月 1 日から 2030 年 12 月 31 日までの期間、当院消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科を受診し、大腸癌局所再発と診断され、治療された患者さんが対象です。

利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテに記録されている情報のうち、臨床所見や血液検査所見、画像所見、病理所見などについて、標記研究のために利用します。

具体的には、直腸癌局所再発患者さんのうち、さまざまな術前治療を受けた方の、生存率や無病生存率について、統計解析的手法を用いて比較することで、治療効果の改善に寄与する因子を明らかにしたいと思います。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

外部への試料・情報の提供

外部への試料提供はありません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先

弘前大学医学部附属病院 消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科 須藤亜希子
0172-39-5079/akiko-s@hirosaki-u.ac.jp